



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

平成 30 年 9 月 27 日
岡 山 大 学

(概要説明)

- ・ 歯の欠損があるが適切な補綴歯科治療を受けていない人では、将来認知症と診断される可能性が高くなることが疫学調査によってさらに明らかになり、全国の専門家が中心となり認知症と口腔機能の関連についての研究会が設立されました。
- ・ 基礎研究者と臨床家とが積極的に情報交換を行う全国で初めての研究会です。
- ・ 認知症の危険因子となる口腔機能の低下や障害が関連脳神経の変異を引き起こすメカニズムを解明するとともに、口腔機能の維持や歯科疾患の治療が認知症の予防や改善につながる可能性を明らかにしていきます。

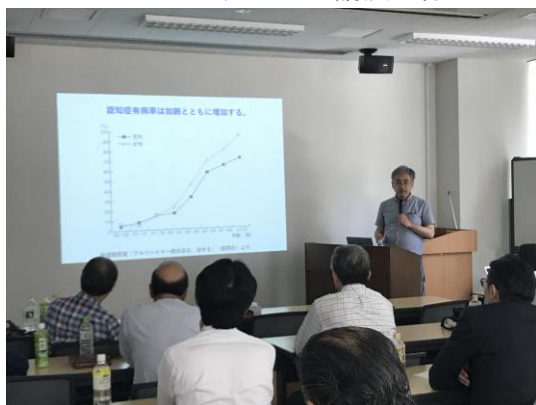
<認知症と口腔機能研究会を設立>

全国の専門家 26 名が中心となり「認知症と口腔機能研究会」が設立されることとなり、設立準備委員会が平成 30 年 8 月 5 日キャンパス・イノベーションセンター東京において開催されました。代表世話人に窪木拓男、平井敏博、姜 英男の 3 名が選出され、会の設立に必要な事項が決定された後、会長に岡山大学の窪木拓男が任命されました。その後、理化学研究所からお招きした西道隆臣先生、世話人の姜 英男先生、山本龍生先生（神奈川歯科大学）からこの分野に関する最新情報をご講演いただき、この分野の将来や可能性について熱く語り合いました。第 1 回学術大会は窪木拓男が大会長を務める予定です。

名 称 認知症と口腔機能研究会

代表世話人 窪木拓男（岡山大学）、平井敏博（北海道医療大学）、
姜 英男（大阪大学、ソウル大学）

西道先生のご講演の様子



<お問い合わせ>

岡山大学（所属）大学院医歯薬学総合研究科
インプラント再生補綴学分野
（役職）教授（氏名）窪木 拓男
（電話番号）086-235-6680
（FAX番号）086-235-6680
（メール）office@jrsof.net 事務局専用アドレス